

令和元年 豊川市地域医療連携協議会 議事録

令和1年9月19日
13時30分～14時30分
豊川市民病院 講堂

1. はじめに

司会) 令和元年度 第1回地域医療連携協議会を始める。

(1) 大石会長挨拶

お忙しい中、限られた1時間の会議であり、積極的な意見交換をお願いする。
情報提供として、電子連絡帳についてお伝えする。電子連絡帳は来年4月、名古屋市を除き、広域で使えるようになる。

(2) 出席状況確認：36名中（欠席者9名、当日欠席1名）で2分の1以上の出席があり
会は成立している。

(3) メンバー変更と自己紹介（別紙、委員名簿参照）

2. 議題

(1) 協議事項

① 東三河南部地域医療連携協議会報告

要約すると、公的病院は機能を見て削減する。開業医の病院に関しては削減の話はなかった。私立の病院機能を脅かすような事業を公的病院は新規で始めないよと言われており、豊川市内でMRIとかCTの規制についても話しあわれていた。

② 高齢者の圧迫骨折・肺炎等で救急搬送された患者の入院受け入れについて

市民病院では入院対象とならない事例でも市内の病院では入院させた方が良い患者がいるが、そのような患者の受け入れについて検討したい。

可知病院：当院でも実際に市民病院の救急医師から連絡があり、週末の金曜日で、土日になるので、満床を越して入院を受け入れた経緯がある。オーバーベッドには一定の条件があるが、満床でも最終的に平均で60床なら60床を越えなければいいことになっている。今後、そのような対応をしていくのか、準救急患者の受け入れについて病院毎の意見を伺いたい。

タチバナ病院：高齢者の肺炎の入院は受け入れている。但し、緊急入院は難しい事もあるので、早めに情報が貰えれば検討する。

総合青山病院：圧迫骨折の方も受け入れている。ご紹介やご連絡があれば、検討する。ご相談頂く時間帯が、午前中なら比較的当日の入院を受け入れやすい。肺炎とかの高齢者の方も同じである。

豊川青山病院：当院の場合、紹介状の後、判定会議を行っている為、緊急の即日入院は困難である。あらかじめ情報が頂ければ判定会議を早めに設定することは可能である。

荻野病院：療養病床なので、ご紹介頂ければ、肺炎とか高齢者の方も平日の日勤帯なら

受け入れ可能である。

宮地病院：高齢者や圧迫骨折の方の受け入れは行っている。肺炎については内科医が常勤でないので、対応出来ない。

国府病院：居宅からでも連絡があれば、受けるようにしている。骨折は受け入れられないが、当院で対応出来なければ、他の病院を紹介させて頂いている。

樋口病院：入院のベッドが無いクリニックやケアマネが間に入っている紹介も受けるようにしている。その場合は医師に紹介を頂いて調整を図っている。

さくら病院：原則的に高齢者の肺炎は受けるようにしているが時間帯と病床によって対応が違う。さっき話のあったオーバーベッドの問題もあるが、考慮していきたいと思っている。市民病院にお願いしたいことは、IC はしっかりしてから送ってきてほしい。

後藤病院：圧迫骨折など的高齢者は、ベッドがあれば、受けるようにしている。

司会) 整形外科の中ではうまく連携が取れている。内科的なこと、肺炎などはよくわからないが、大雑把なマニュアルがあると良いのではないかと、下の部会で話し合っただけで医師と相談しながら作っていったらと思う。市民病院で入院させる程ではない患者についてこの間も話に出ていたが、1～2日、市民病院でみてもらえないか、そこも考えないといけない。

市民病院：入院してすぐの転院になるので、家族に転院を受け入れてもらう必要がある。IC をしっかりしないとけない。豊川市内でマニュアルがあると医師も説明がしやすいのではないかと。救急担当医師から話が出たことは聞いている。(院内で検討までは、していない)

会長) 在宅から送ることが多いが、市民病院が、どのくらい重症だと受けて貰えるかを熟知しているので、そのような患者しか送っていない。問題は土日、祝日で軽い肺炎だとわかってもし土日を何とかしのいで、民間病院へ送っている現状がある。平日は何とか対応出来ているが、そこが一番苦しい所である。

司会) 今年の課題としてクリニックの医師も参加できるような仕組みを作って、在宅の先生方も病床のある病院の機能が使えたら良いと思う。よろしく願います。

③ レスパイト入院について

信愛医療療育センター：一般の病院と違うのは、福祉サービスでの利用となる。重症心身障害児者以外の対応は正直出来ない。気管切開、24 時間呼吸器、対象者は重症心身障害児者のみの入所となる。それ以外の方は難しい。医療型の短期入所となるので、緊急入院としては、関係機関と相談して対応している。一日 1 枠を目標に受け入れている。

会長) 当院のシステムでは、繰り返し使用しても減算にならない。一般病棟の場合、頻回の利用で減算される。入院までの間隔を空けないと減算になり、経営が苦しくなる。

荻野病院の場合は、減算の対象になっていないか。

荻野病院：一般病棟だが、詳しいことはわからない。

会長) 短期間の利用になると思うので、市民病院の地域包括ケア病棟で繰り返し利用できるよう検討してほしい。荻野病院は障害者等を持っていない一般なので、頻回に受けると減算になる。

3.報告事項

退院調整担当者会会長、佐藤氏より報告(別紙参照)

- ① 年間目標
- ② 研修計画
- ③ 昨年度の活動についてのアンケート調査結果

4.その他

司会) 議題は以上だが意見があれば、お願いします。

大石会長) 市民病院のレスパイト入院については、どのようになっているか

市民病院) 人工呼吸器装着患者の受け入れについて検討している。可知先生が先ほど言われたように当院の医師からも公立病院として私立の病院ができることを当院で行うのはどうかという意見もあり、実際に市内で受け入れに困っていると聞いている人工呼吸器装着患者の条件で調整中である。

大石会長) レスパイト入院も地域包括ケア病棟なら繰り返し利用できるが、毎週使用することはないと思うので、良く調べて受け入れ条件を明確にしてほしい。

司会) 予定は以上で全て終了した為、会議を終了する。